



保険証が使用できるのは退職日までです
退職の際は保険証の回収をお願いします

職場内で掲示や回覧により
ご周知ください

できることから
はじめよう!

上手な

医療のかかり方

point
01

いきなり大病院に行かない

大学病院などの大病院に軽症患者が集中すると、本来担うべき重症患者への対応や救急医療などに支障が生じます。

紹介状なしで大病院を受診すると、診察料に加えて**7,000円以上の特別料金(全額自己負担)**がかかります。



point
02

時間外受診を控える

医療機関を受診する時間によっては、初診料や再診料の他に「**時間外加算**」がかかります。本来、休日や夜間は緊急性の高い重症患者や入院患者に対応する時間帯です。



まずは、かかりつけ医に受診しましょう。

急病でやむを得ない場合を除き、平日の診療時間内に受診するよう心がけましょう。

check!

「かかりつけ医」を持とう!

「かかりつけ医」とは、健康に関することを何でも相談できる、身近で頼りになる医師のことです。詳しくは、厚生労働省の公式ウェブサイトをご確認ください。



加算がかかる時間帯	加算額	
	初診	再診
深夜(22時~翌6時)	+4,800円	+4,200円
休日(日曜・祝日)	+2,500円	+1,900円
平日:おむね8時前・18時以降 土曜:8時前・正午以降	+850円	+650円

※表の金額に健康保険が適用されます。(自己負担は2割または3割)
※表は加算の一例です。医療機関や診療体制によって異なる場合があります。



活用しよう!



えひめ医療情報ネット

愛媛県の医療機関に関する情報が掲載されています。最寄りの医療機関や受診したい診療科のある医療機関を探すとき等にお役立てください。

えひめ医療情報ネット



子ども医療電話相談

#8000を
プッシュ

夜間の子どもの急な症状で、病院への受診が必要か等判断に迷うときは、電話で「#8000」をプッシュすることにより医師や看護師からアドバイスを受けます。



協会けんぽ2022(令和4)年度決算(見込み)のお知らせ

2022年度の決算(見込み)のポイント

2022年度の決算は収入が11兆3,093億円、支出が10兆8,774億円で、収支差は4,319億円となりました。

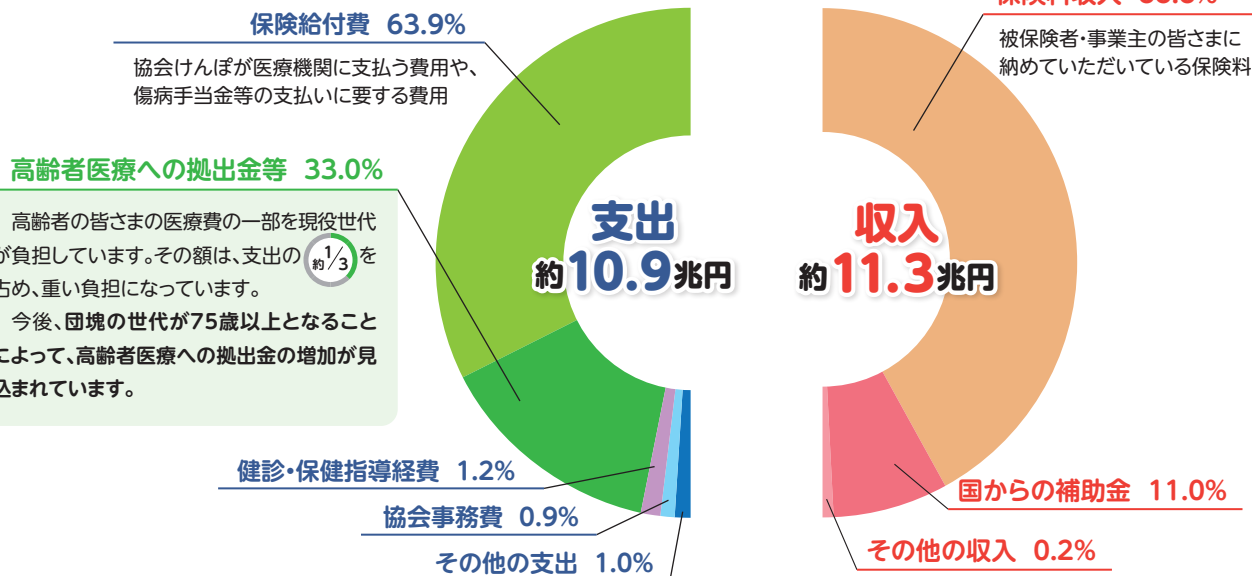
ポイントとして、収支差は前年度比で増加(+1,328億円)しましたが、この要因は、保険料収入の増加(+1,868億円)より保険給付費の増加(+2,502億円)が上回ったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う2020年度の高齢者の医療費の一時的な減少により、後期高齢者支援金に多額の精算(戻り分1,901億円)が生じたこと等によって支出の伸びが抑えられたことによるもので、一時的な特殊事情によるものです。

※詳しくは、協会けんぽホームページをご覧ください。

2022年度決算(見込み) | 医療分

収入	11兆3,093億円	(+1,813億円)
支出	10兆8,774億円	(+ 486億円)
収支差	4,319億円	(+1,328億円)
準備金	4兆7,414億円	(+4,319億円)

※ ()内は、対前年度比。



Q

2022年度の決算は黒字額が増加しましたが、協会けんぽの財政は今後どのような見通しなのでしょうか？

A

協会けんぽの財政は、以下の理由から楽観を許さない状況です。

- ◆収入面では、賃上げによる賃金の上昇が当面は見込まれるものの、被保険者数の伸びが鈍化していることや、不安定な海外情勢や物価高の影響等で経済の先行きが不透明であること等によって、これまでのような保険料収入の増加が今後も続くとは期待し難いこと。
- ◆支出面では、医療給付費がコロナ禍前の水準を上回って推移した2021年度(対前年度比+8.6%)をさらに上回り、2022年度は対前年度比+4.4%と高い伸びで推移していることや、今後も、後期高齢者支援金の増加が見込まれること。

こうした状況を踏まえ、協会は、将来を見据えて、加入者の健康増進の取り組みを中心とした医療費の適正化をさらに推進するとともに、安定した財政運営に努めてまいります。



制度情報・健康情報を
月に1回お届け♪

メールマガジン



協会けんぽの健診が
さらにお得に!

けんぽのいっぽ!



今、「健康経営®」が目ざされています☆

健康づくり推進
宣言



「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。